

令和4年3月4日

福知山市議会議長 高橋 正樹 様

予算審査委員会委員長 芦田 眞弘

委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

1 委員会付託議案

- ・議第142号「令和3年度福知山市一般会計補正予算（第11号）」

2 審査の概要

2月28日に委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。各所管部署より詳細な説明を受け議案審査を行いましたので、主な概要について報告します。

初めに、知の拠点推進事業について、「大学院施設整備にあたり起債による財源対応となっているが、国への補助申請額と採択後の財源処理」を問う質疑があり、「地方創生拠点整備交付金として、おおよそ2分の1にあたる1億7,530万円の補助申請をしている。採択後は事業費から国庫補助を除いた対象事業費に対して起債を充当していく。起債が3種類あるのは、用途ごとに区分して起債メニューを分けているものである。」との答弁がありました。

次に、民間保育所運営事業について、「処遇改善となる職種」を問う質疑があり、「保育士だけでなく調理師や栄養士、事務職員も対象である」との答弁がありました。続いて、「フルタイム、短時間勤務など勤務時間の違いによる差はあるのか」を問う質疑があり、「勤務時間の違いによる差はないが、職員それぞれの経験年数などに応じた支給になることもある。全員が一律に3%の処遇改善となるものではない」との答弁がありました。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種事業（5歳から11歳の小児対象）について、「集団接種会場使用料の算出根拠」を問う質疑があり、「いろいろな場所を想定しての算出となっているが、現段階においては、日曜日にハピネスふくちやまでの接種を予定している」との答弁がありました。続いて、「繰越明許費における完成予定日を令和5年3月31日としている理由」を問う質疑があり、「令和4年8月末までの期間を想定しているが、追加接種などまだ決まっていないこともあり、年度末とした」との答弁がありました。

次に、ため池等農地災害危機管理対策事業について、「22池を対象とした劣化状況評価に要する委託料440万円の妥当性」を問う質疑があり、「京都府が定める歩掛等による積

算であり、適正である」との答弁がありました。

次に、農業生産施設緊急復旧対策事業について、「地域別の被災状況」を問う質疑があり、「パイプハウスの被災は47棟で、旧市内26、三和町3、夜久野町13、大江町5となっている。果樹棚は夜久野町の1件である」との答弁がありました。

次に、学校情報機器保守管理事業について、「この事業は、令和3年度の当初予算で計上されているが、今回の追加補正の理由」を問う質疑があり、「国の補正予算において財源活用が可能となったことによる前倒し補正で、内容が変わるものではない」との答弁がありました。

次に、小・中学校ICT環境整備事業について、「教職員タブレットを追加購入する理由」を問う質疑があり、「遠隔授業の進行により、一人の教師が複数のタブレット端末を使用することがあること、授業において不具合が生じた際、即座に対応が求められること、また、授業を持たない校長や養護教諭・事務職員にも校務における情報化の必要があることから追加購入するものである」との答弁がありました。

討論は、ありませんでした。

3 審査結果

- ・議第142号 賛成多数で原案可決